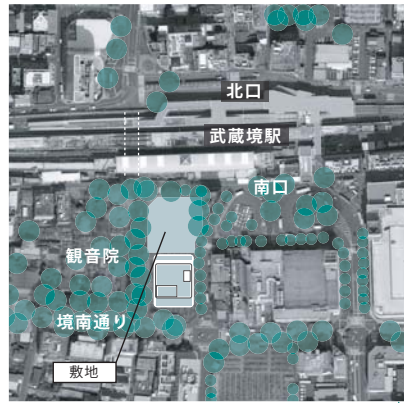


境南ふれあい広場公園整備計画

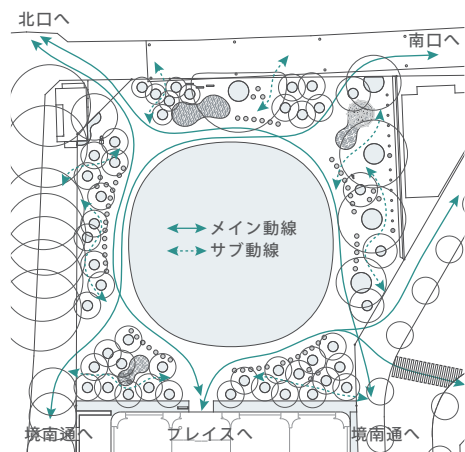
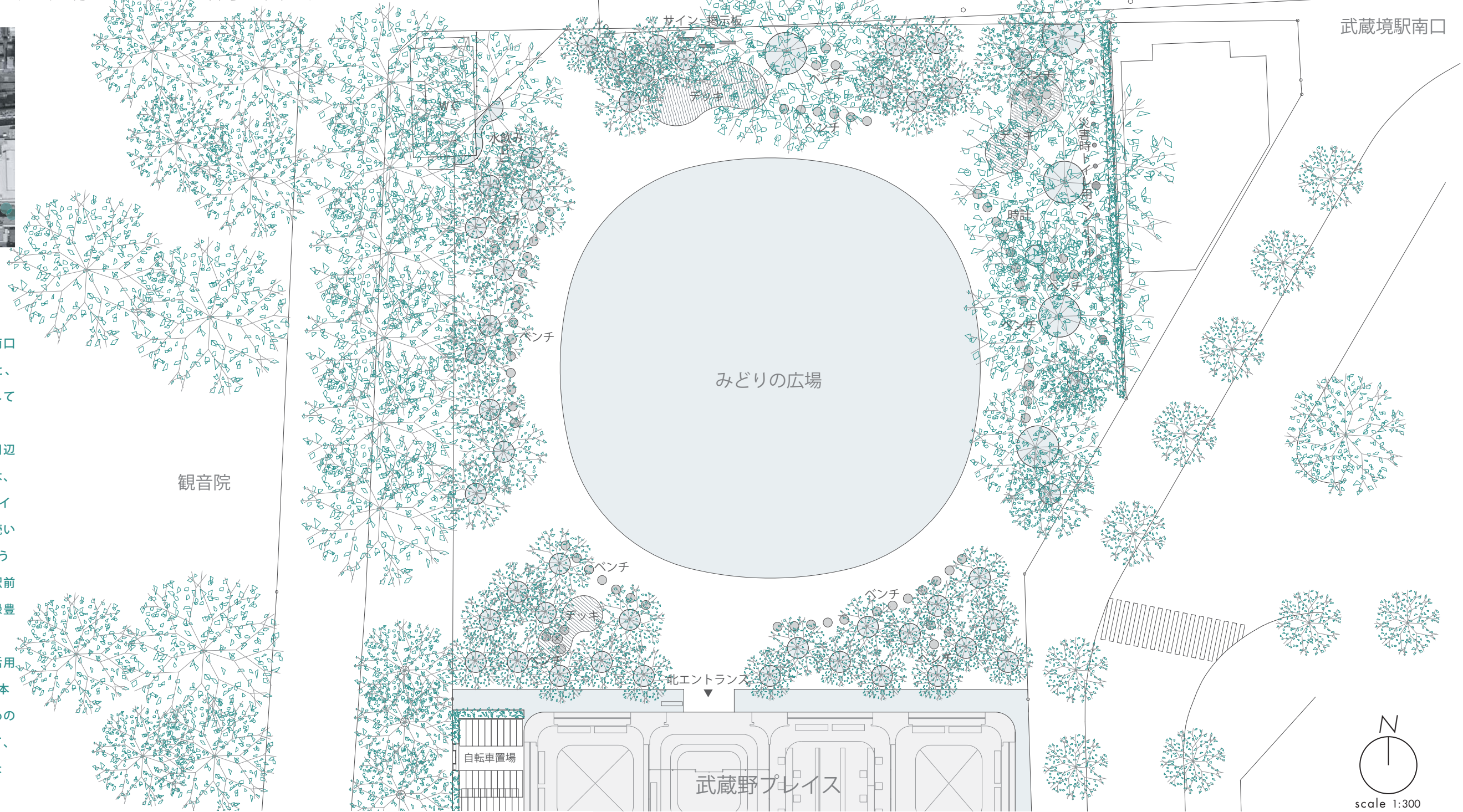


緑のネットワーク

境南ふれあい広場公園は武蔵境駅南口の駅前に位置し、JRが高架化すると、北口広場ともつながる場所に位置しています。

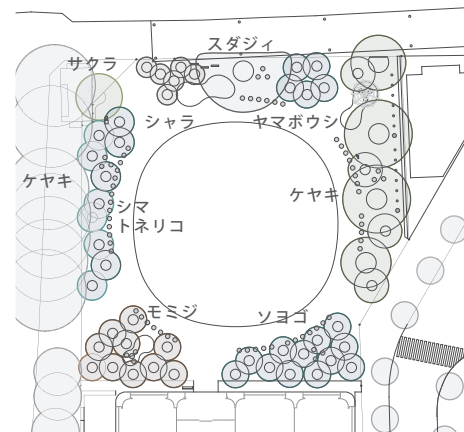
現在でも駅南口ロータリーの緑や周辺整備で移植されてきた公園内の高木、西側道路には20mを超えるケヤキとイチヨウの高木並木、観音院の緑と続いています。また、プレイスを囲むように境南通りには桜並木、東側には駅から続くクスノキの並木があり、緑豊かな環境を形成しています。

公園はこれら緑のネットワークを活用するとともに、中心市街地活性化基本計画で掲げている地域活性化のためのイベントができるような広場として、地域のまちづくりの核となるような公園として整備します。



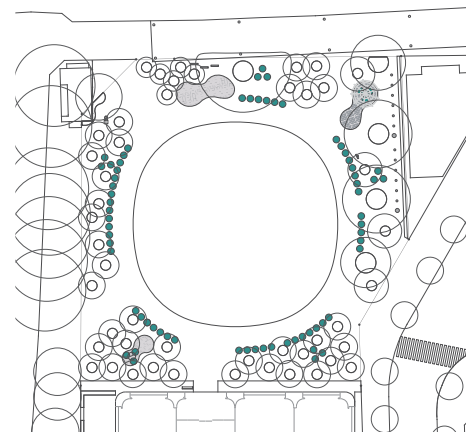
どこからでもアプローチ

丸い形状は方向性(ウラ)をつくりません。駅や高架下店舗、JRの高架によりつながる北口広場、境南通りやプレイスなどのあらゆる方向に対するアプローチを考慮しています。また、道路に面する部分には段差や塀を設けていません。すべてに対して開くことでどこからでも出入りができる、開放的な公園としています。



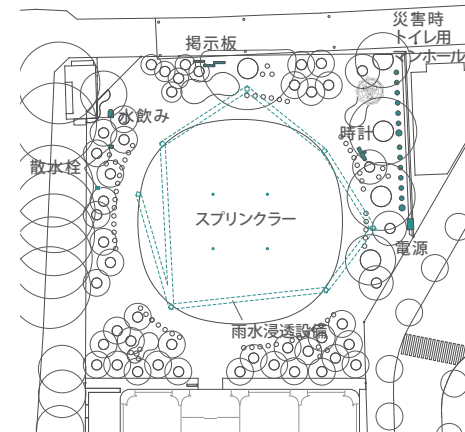
緑に包まれる

既存の樹木を生かし高木をまわりに配置することで、緑に包まれた潤いのある公園とします。隔当たりなど条件に合わせた樹木配置とするため、1つの樹種ごとにまとまりをつくり、数種類を林立させます。1年を通して花や紅葉、新緑を楽しむことができるようにしています。



独立したベンチ

個々に独立したベンチをサークル状に並べ、樹木の下にも点らせています。独立させることでどこでも通り抜けることができるようになり、夜間の寝泊まりを防止することにもつながります。またオープンな空間を生かし、どちらからでも座りやすい形状とすることで裏表ができないようにしています。



都市公園としての機能性

緑の親和性を保ちつつも都市公園としての機能性をもたせます。水飲み(車いす対応)、掲示板、時計、災害時トイレ用マンホール、照明、電源、散水栓、スプリンクラー、雨水浸透施設を機能的に配置しています。